

info

インフォメーション



地域密着型病院長の トップマネジメント研修

日時●9/8(木)

会場●ホグメディカル本社ホール(東京都港区)

テーマ●中小規模病院が地域で不可欠な役割を今こそ積極的に果たすために

プログラム●「機能分化による地域密着型病院のあり方を展望する」松田晋哉(産業医科大学)／「地域に根ざした保健・医療・福祉ケアの包括的実践——富士見高原病院の積極的展開」井上憲昭(長野県厚生連富士見高原病院)／「次回診療報酬改定の内容を大胆予測する——中・長期ビジョンに立った具体的な戦略的対応を考える」工藤高(MMオフィス)／「地域に不可欠な医療機関を目指して」今村英仁(今村病院)

定員●96名(定員になり次第締切)

参加費●会員1万3000円、非会員1万7000円

申し込み●下記ホームページより申込書をダウンロードし、FAXにて

問い合わせ●病院管理研究協会(研修担当 安保)

TEL 03-3352-2575

FAX 03-3352-2575

URL <http://www5.ocn.ne.jp/~byokan21/>



日本災害看護学会 第13回年次大会

日時●9/9(金)・10(土)

会場●大宮ソニックシティ(さいたま市)

プログラム●大会長講演「災害看護と人道支援」浦田喜久子(日本赤十字社)／教育講演「被災者の保護と権利——その現実と法的な枠組み」Margareta Wahlström(国連事務総長特別代表防災担当)／特別講演I「日航機墜落事故救護活動の体験から——今、語れること、語り継ぐこと」前田陽子

(前橋赤十字病院)／特別講演II「地球のステージ」桑山紀彦(NPO法人地球のステージ)／シンポジウム「私たちは何のために、どのように在り、どこに向かうか——救護活動の経験を通して」伊藤明子(名古屋第二赤十字病院)・川原由佳里(日本赤十字看護大学)・前田潤(室蘭工業大学院)・高田洋介(神戸大学大学院)、「災害看護の実践・教育・研究」酒井明子(福井大学)・田村由美(滋慶医療科学大学院大学)・小川里美(京都第二赤十字病院)／特別企画「緊急討論——東日本大震災における救援活動の経験知と課題」小野久恵(あおい訪問看護ステーション)・黒田裕子(阪神高齢者・障害者支援ネットワーク)、「原発問題と看護の役割」草間朋子(大分県立看護科学大学)、「大規模災害における災害看護の課題——連携に焦点を当てて」日本災害看護学会組織委員会・理事会主催情報交換会／ワークショップ「看護トリアージセミナー——体験しようトリアージ」勝見敦(武蔵野赤十字病院)・佐藤和彦(国立病院機構霞ヶ浦医療センター)・高野博子(国立病院機構信州上田医療センター)・高寺由美子(前橋赤十字病院)、「ボランティアが社会を変える——時間軸によりいのち・くらしを支える」似田貝香門(東京大学)、「災害時の遺族ケア 体験告白——遺族との関わりから伝えたいこと」村上典子(神戸赤十字病院)、「東日本大震災被災地における支援活動の経験知と地域防災活動の課題」山本由香(日本赤十字看護大学)・勝見敦(武蔵野赤十字病院)・青山真市郎(自主防災組織「境南地域防災懇親会」)、「災害看護カフェ——災害イメージネーションゲームで考える防災と看護」赤十字災害看護研究会、「わがちあおう、災害看護セミナーからの学び」NPO法人災害看護支援機構／教育セミナー「救援活動におけるコーディネーターの意味と人材育成」／ランチョンセミナー「発災時における人間行動の特性について」中田敬司(東亜大学)、「災害発生時における透析患者への対応」赤塚東司雄(赤塚クリニック)・石田千絵(昭和大学)／他

参加費●会員1万円、非会員1万2000円、学生3000円、懇親会6000円

申し込み●下記ホームページより申込書をダウンロードし、FAXまたは郵送にて

申し込み先●運営事務局

〒102-0075 東京都千代田区三番町2三番町KSビル(株)コンベンションリンケージ内

TEL 03-3263-8688

FAX 03-3263-8693

E-mail saigaikango13@secretariat.ne.jp

URL <http://www.c-linkage.co.jp/saigaikango13/>

問い合わせ●大会事務局

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社事業局看護部内

TEL 03-3437-7505

FAX 03-3438-1339



日本訪問看護振興財団 平成23年度研修事業 退院支援と訪問看護連携セミナー

日時●9/10(土)

会場●ハートンホール毎日新聞ビル(大阪市)

プログラム●入院日から始まる退院支援のプロセス／患者・家族の思いに寄り添う退院計画と訪問看護計画／カンファレンスの持ち方と職種間連携の取り方／他

講師●石橋もゆき(千葉大学大学院看護学研究科訪問看護学教育研究分野)

参加費●財団会員7000円、非会員1万7000円

問い合わせ●日本訪問看護振興財団

〒150-001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5F

TEL 03-5778-7005

FAX 03-5778-7009

E-mail info-kensyu@jvnf.or.jp

URL <http://www.jvnf.or.jp/>



千葉看護学会 第17回学術集会

日時●9/17(土)

場所●千葉大学けやき会館(千葉市稲毛区)

プログラム●会長講演「より良い看護実践を支えるもの」岡田忍(千葉大学大学院看護学研究科)／教育講演「確かな看護技術の確立を支援する実証的研究の取り組み——経験知を大切にしたいエビデンスの創出(点滴漏出時のケア)」武田利明(岩手県立大学看護学部)／シンポジウム「臨床実践の発展に向けたエビデンスの探究」小川俊子(千葉大学大学院看護学研究科)・江幡智栄(千葉大学医学部附属病院)・酒井郁子(千葉大学大学院看護学研究科)／懇親会／他

参加費●会員5000円、非会員6000円、大学院生を除く学生1000円

問い合わせ●事務局(鈴木明子)

〒260-8672 千葉市中央区玄鼻1-8-1 千葉大学大学院看護学研究科 病態学教育研究分野内

FAX 043-226-2407

E-mail cans17-office@umin.ac.jp

URL <http://www.cans-net.jp/society/>



高野山大学「いのちのセミナー」

〈第2回〉

日時●9/17(土)

プログラム●「空海の生涯(二) 高野山の開創から入定まで」武内孝善(高野山大学)／「空海の生命観」竹内信夫(東京大学)

〈第3回〉

日時●11/26(土)

プログラム●「いのちの意味——仏教の視座を中心として」前谷彰(高野山大学文学部)／「人生の実力」柏木哲夫(金城学院大学、大阪大学、淀川キリスト教病院)

〈第4回〉

日時●12/11(日)

プログラム●「見えないものを見る——存在とは関係なり」村上保壽(高野山真言宗教学部、総本山金剛峰寺執行、和歌山県正覚寺住職)／「怒り」と向きあう——仏の教えと臨床現場から」森崎雅好(高野山大学文学部)

〈第5回〉

日時●2012年2/25(土)

プログラム●「生と死のはざままで——Part1 “いのち”に寄り添う」藤藪庸一(白浜バプテスト基督教会牧師、白浜レスキューネットワーク)／「生と死のはざままで——Par2 “人生の物語”に寄り添う」森崎雅好

会場●いずれも昭和女子大学(東京都世田谷区)

参加費●3000円/回

問い合わせ●高野山 東京事務所
〒107-0052 東京都港区赤坂1-7-4 No.1 ニイクラビル3F

TEL 03-6808-7221

FAX 03-3582-2013

E-mail tokyo_office@koyasan.jp

URL <http://www.koyasan.jp/seminar.html>



医療のための 質マネジメント基礎講座

日時●9/18(日)

プログラム●

〈第13回〉

「患者状態適応型パスシステム(PCAPS)の基本(1)——PCAPSとは」水流聡子(東京大学大学院工学系研究科)

〈第14回〉

「患者状態適応型パスシステム(PCAPS)の基本(2)——PCAPS活用の実例」水流聡子、名取良弘(麻生飯塚病院)、進藤晃

(大久野病院)、佐野けさ美(スギメディカル)
会場●東京大学キャンパス(東京都)
参加費●

JSQC 正会員・部会員 5000円/回

JSQC 正会員・非部会員 7000円/回

JSQC 非会員 1万5000円/回

問い合わせ●事務局

FAX 03-3232-9780

E-mail kisokouza@tqm.mgmt.waseda.ac.jp

URL <http://www.jsqc.org/ja/division/med/>



日本赤十字看護大学平成23年度 公開講座『いのちを育む』

〈第3回〉

日時●9/21(水)

会場●日本赤十字大学(東京都渋谷区)

プログラム●「いのちを守る——災害から身を守る知恵と技」小原真理子(日本赤十字看護大学)

定員●50名(定員になり次第締め切り)

参加費●無料

申し込み●往復ハガキに参加希望日、氏名、住所、連絡先を記入し下記まで。※往復ハガキ1枚につき1名

問い合わせ●公開講座委員会

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学

TEL 03-3409-0680

FAX 03-3409-0589



第16回 聖路加看護学会学術大会

日時●9/24(土)

会場●聖路加看護大学(東京都中央区)

プログラム●大会長講演「グローバルヘルスニーズの変遷と日本の国際看護の発展」

田代順子(聖路加看護大学国際看護学)／特別講演「Globalisation & Advanced Practice」Barbara Ann Parfitt(グラミン・カレドニアン看護大学)／ランチョンセミナー

「聖路加国際病院の看護継続教育」高屋尚子(聖路加国際病院)、「People-Centered Careをひらく——海外研修報告」長松康子・小林真朝・伊東美奈子(聖路加看護大学)／シンポジウム「看護実践の高度化と役割拡大」有森直子(聖路加看護大学遺伝看護学)・大久保暢子(聖路加看護大学基礎看護学)・宮坂勝之(聖路加看護大学周麻酔期看護学)／一般演題／自由集会

参加費●

(～9/3) 会員 5000円、非会員 6000円

(当日) 会員 6000円、非会員 7000円
(共通) 大学院生 1000円、学部生無料、
2011年卒および修了の発表者 1000円
問い合わせ●事務局(長松康子)
〒104-0045 東京都中央区築地3-8-5
聖路加看護大学2号館4F
E-mail slnr16@slcn.ac.jp
URL <http://slnr16.umin.jp/>



第33回 日本創造学会研究大会

日時●10/8日(土)・9(日)

会場●東京工科大学蒲田キャンパス(東京都大田区)

テーマ●日本の再生と創造性

プログラム●基調講演「創造性のパラダイム変換——3.11後の世界から」タン・アイ・ガール(南洋理工大学)／シンポジウム「日本の再生に向けて——ケアとデザインの共創の試み」司会:奥正廣(東京工科大学)、「ケアとデザインの協働の背景を紹介。職場(現場)での協働実現・実践における基本的問題提起」嶋森好子(東京都看護協会)、「東京工科大学蒲田キャンパスのデザイン系と医療系の教育的現場での協働の実践紹介と問題提起」伊藤丙雄・小松泰喜(東京工科大学)、「看護学関連領域における創造性教育的視点から実践紹介と問題提起」澁谷貞子(つくば国際大学)、「創造的デザイン研究の立場からの問題提起」永井由佳里(北陸先端科学技術大学院大学)／ディスカッション「日本の再生、より創造的な協働(共創)に向けて」

参加費●(事前) 正会員 3000円、非会員 5000円、学生会員 2500円

(当日) 正会員 4000円、非会員 6000円、学生会員 2500円

問い合わせ●日本創造学会事務局

〒272-0015 千葉県市川市鬼高4-7-6-816

TEL 080-3465-6152

FAX 047-314-6380

E-mail jcs@soken-ri.co.jp

URL <http://www.japancreativity.jp/>